

# 看護教育学

必修

開講年次：3年次後期

科目区分：講義

単位：1単位

講義時間：15時間

■**科目のねらい**：看護教育学の理念・基本概念の理解を基本として、わが国における看護教育制度、看護学教育におけるカリキュラムのプロセス、教授＝学習過程、教育評価などの看護教育の展開の過程について学習することを通し、看護職養成教育の現状と今後の課題について考察する。また、これらの学習を通して、大学において看護学を学ぶ意義と課題を確認する。

■**到達目標**：①看護教育学の理念・基本概念を理解し、看護基礎教育課程において看護教育学を学習する意義を明らかにする。  
②看護教育制度の特徴と課題を理解し、看護学教育の高等教育化の必要性を明らかにする。  
③看護教育カリキュラム編成・授業計画の立案・教育評価の基本を理解し、自己評価の必要性を確認すると共に看護学の学習を進める上での個々の課題を明らかにする。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎定廣 和香子・田中 広美

■**授業計画・内容**：

第1回 ガイダンス・看護教育学と看護学教育

第2・3回 看護教育制度

第4・5回 看護教育カリキュラム

第6・7回 授業計画の立案と教育評価

第8回 統合（試験オリエンテーション）

■**教科書**：杉森みどり・舟島なをみ：看護教育学第6版、医学書院、2016

■**参考文献**：授業時に紹介する。

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎	◎	60点以上	100
出席				3分の2以上の出席	試験受験資格

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：看護教育学は、学生の皆様を含む看護職者の発達の支援を通して、看護の対象に質の高い看護を提供することを目指す学問です。また、その研究対象は、看護学教育の各領域に共通して普遍的に存在する要素（学習活動、教育活動、カリキュラム、教育評価、看護学実習etc）です。講義では、様々な看護教育学の研究成果を紹介しながら授業を進めていきます。皆様が、看護学の学習を進める上での課題や問題を解決するヒントを見つけていただければ幸いです。